教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

－ 令和６年度の実績 －

白鷹町教育委員会

目　　次

１．点検・評価制度について・・・・・・・・・・・１

２．令和６年度　教育委員会開催実績・・・・・・・２

３．予算の体系と主な取り組み・・・・・・・・・・４

４．点検評価表

学校教育の充実・・・・・・・・・・・・・６

生涯学習の推進・・・・・・・・・・・・２０

文化芸術の振興・・・・・・・・・・・・２７

スポーツの推進・・・・・・・・・・・・３２

１．点検・評価制度について

（１）概要

白鷹町教育委員会では、信頼される効果的な教育行政の推進と自らの説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定により、「教育に関する事務の管理及び執行状況に関する点検・評価報告書」を作成しています。

点検・評価を行うことにより、教育行政の課題や取組の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図ります。また、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することにより、町民への説明責任を果たし、信頼される教育行政の推進を図ります。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

第 26 条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（２）対象事業

令和６年度に行った主要な事務事業(「当初予算の概要」で示した事業)及び補正予算で追加した主な事業です。

（３）評価の項目等

必　要　性	：	役割分担、町が実施すべきものか、時代ニーズ・町民ニーズを踏まえているか等の視点 【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
有　効　性	：	施策を実現する手段・利用者に偏りはないか、成果や効果の把握等の視点 【4:十分　3:概ね十分 2:やや不十分　1:不十分】
費用対効果	：	運営方法、コストに見合った効率的な活動等を行ったか等の視点 【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
方　向　性	：	今後の方向性 【S：完了　A：継続して実施　B：若干の改善必要　C：縮小・大幅な見直し必要　D：廃止・中止　】

２．令和６年度　教育委員会開催実績

委員会開催日	番　号	議　案
令和 6 年 5 月 22 日	議第 10 号	白鷹町児童生徒等の指定校変更の専決処分の承認について
	議第 11 号	白鷹町立小、中学校の学校運営協議会委員の任命について
	議第 12 号	白鷹町教育支援委員会委員の委嘱について
	議第 13 号	白鷹町図書館協議会委員の任命について
	議第 14 号	白鷹町文化財保護審議会委員の任命について
	議第 15 号	白鷹町青少年推進員の委嘱について
	議第 16 号	白鷹町社会教育委員の委嘱について
	議第 17 号	白鷹町競技力向上対策委員会委員の委嘱について
	議第 18 号	学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
令和 6 年 6 月 12 日	議第 19 号	白鷹中学校体育館等改修工事請負契約の締結に関する意見聴取について
	議第 20 号	町民武道館空調設備整備工事請負契約の締結に関する意見聴取について
令和 6 年 7 月 19 日	議第 21 号	令和７年度使用教科用図書の採択について
令和 6 年 9 月 19 日	議第 22 号	損害賠償の額の決定に関する意見聴取の専決処分の承認について
	議第 23 号	損害賠償の額の決定に関する意見聴取の専決処分の承認について
令和 6 年 10 月 1 日	議第 24 号	損害賠償の額の決定に関する意見聴取の専決処分の承認について
	議第 25 号	白鷹町立小中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
令和 6 年 10 月 31 日	議第 26 号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

委員会開催日	番　号	議　案
令和 6 年 11 月 22 日	議第 27 号	白鷹中学校体育館等改修工事請負契約の一部変更に関する意見聴取について
	議第 28 号	町民武道館空調設備整備工事請負契約の一部変更に関する意見聴取について
令和 6 年 12 月 20 日	議第 29 号	教職員の懲戒処分の内申について
	議第 30 号	白鷹町立学校長の処分について
令和 7 年 1 月 20 日	議第 1 号	区域外就学の承認について
令和 7 年 2 月 14 日	議第 2 号	令和７年度白鷹町教育行政一般方針について
	議第 3 号	令和７年度白鷹町一般会計予算のうち教育費に関する予算の意見聴取について
令和 7 年 3 月 7 日	議第 4 号	白鷹町教育相談員の委嘱について
	議第 5 号	白鷹町立小中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
	議第 6 号	令和７年度白鷹町教育委員会事務局職員の人事異動方針について
	議第 7 号	令和７年度教職員人事異動の内示について
	議第 8 号	白鷹町教育委員会委員の辞職について
令和 7 年 3 月 24 日	議第 9 号	区域外就学の承認について
	議第 10 号	令和７年度白鷹町教育委員会事務局職員の人事異動について

※その他、協議会、学校訪問、各学校行事、研修会等の参加があります。

３．予算の体系と主な取り組み

「学び、集い、笑顔かがやく白鷹人」の育成

１．学校教育の充実（10款1項～3項、5項）

１．知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

1　教育研究所運営事業
2　情報教育推進事業（ＧＩＧＡスクール構想推進）
3　学校施設整備事業
4　中学校施設改修事業
5　中学校グラウンド排水対策事業
6　理科教育等設備整備事業
7　スクールバス運行管理等事業
8　部活動改革体制整備事業
9　部活動指導員配置事業
10　中体連・中文連活動事業
11　学校給食費支援事業
12　学校給食調理等業務委託事業

２．自他のいのちを大切にし、共生社会の実現に向けた教育の推進

1　地域学校安全指導員配置事業
2　教育相談事業
3　学校生活支援員配置事業
4　要保護及び準要保護児童生徒援助事業
5　医療的ケア看護職員配置事業

３．地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進

1　新入学児童ランドセル贈呈事業
2　青少年国際交流事業（白鷹人育成事業）
3　英語指導助手（ＡＬＴ）設置事業
4　英語教育推進事業
5　郷土愛醸成事業（学校紅花栽培）
6　コミュニティスクール推進事業
7　１学級１新聞事業

２．生涯学習の推進（10款4項）

１．生涯学習推進体制の整備

1　社会教育施設管理事業

２．生涯学習としての自発的な学習活動に対する支援

1　放課後子どもプラン推進事業
2　二十歳のつどい開催事業
3　白鷹学講座開催支援事業
4　家庭教育支援事業
5　地域学校協働本部事業
6　白鷹町成績優秀者激励金交付事業

３．町立図書館の充実

1　読書感想文及び生活文コンクール開催事業
2　読書活動推進事業
3　佐藤文隆文庫活用推進事業

8　特色ある学校経営推進事業
9　荒砥高等学校魅力化推進事業
10　白鷹高等専修学校支援事業

３．文化芸術の振興（10款4項）

１．文化力の向上

1　芸術文化振興（芸術祭）事業
2　伝統芸能保存伝承事業
3　こども芸術文化活動事業
4　梅津五郎記念事業
5　文化交流センター管理運営事業

２.文化財等の保護と活用

1　文化財保護対策事業
2　小四王原遺跡解体保存事業

３．歴史・文化の学習環境の充実

1　文化財保護調査事業
2　歴史民俗資料館管理運営事業

４．スポーツの推進（10款5項）

１．健康、体力づくりに向け各年代にあったスポーツ活動の推進

1　第59回白鷹若鮎マラソン大会開催事業
2　町誕生70周年記念 地区対抗駅伝競走大会開催事業

２．スポーツ協会や各種団体の育成

1　白鷹町スポーツ振興基金事業
2　白鷹町スポーツ協会運営強化支援事業

３．スポーツ施設の整備・充実

1　社会体育施設管理事業
2　町民武道館空調設備整備事業

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係

（№12　調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	教育研究所運営事業	【事業概要】 教職員相互の調査研究等を行い、教育経営や授業等の実践向上を図りました。 【成果】 全教職員参加のもと、授業を通した研究・研修を行い、教職員の資質向上につながりました。	990	4	4	4	A	【その他特記事項】 令和6年度の重点 1. 学力向上に向けた取組の推進 2. 不登校対策に関わる課題の解決 3. 特別支援教育に関わる専門性の向上 4. 学校間連携による教育活動の充実
2	情報教育推進事業（GIGAスクール構想推進）	【事業概要】 学校ICT機器・1人1台端末の保守等を行うとともに、ICT機器の活用による主体的・対話的で深い学びの視点に立ったプログラミング授業の支援を行いました。昨年度に引き続き、令和6年度も全小中学校で取り組みました。 【成果】 全小中学校において、安心安全なICT環境の保守を適正に行いました。また、ICT活用支援員・GIGAスクールサポーターとして配置し、プログラミング授業やICT機器の活用支援などを行い、全学年必ず1回はプログラミングに関わる授業を行い、実践を積み上げることができました。	76,225	4	4	4	A	【その他特記事項】 GIGAスクール実現に向け、昨年度に引き続き、令和6年度も町内全小中学校を対象としたGIGAスクール運営支援センター業務及びGIGAスクールサポーター・ICT支援業務として配置しています。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係
（№12　調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	学校施設整備事業	【事業概要】 各校で老朽化した施設・設備の改修等を行いました。 ◇小学校費　9,529,135円（修繕費・工事請負費） ◇中学校費　1,087,490円（修繕費・工事請負費） 【成果】 荒砥小学校地下タンクマンホール取替修繕、白鷹中学校地下室排水ポンプ交換修繕ほか、各小・中学校の施設改修を行いました。	10,617	4	4	4	A	【その他特記事項】 各小学校の施設・設備の老朽化が顕著であるため、振興実施計画に基づき、計画的に改修を行ってまいります。特に、児童生徒の安全に直結する箇所については、優先的に取り組んでまいります。
4	中学校施設改修事業	【事業概要】 白鷹中学校における施設の老朽化や熱中症対策のため、体育館の床改修や空調設備設置、校舎のトイレ洋式化や普通教室床改修等を行いました。 【成果】 工期内に工事完成し、中学校における各種行事や夏季の授業や部活動の熱中症対策に寄与しました。	211,719	4	4	4	S	【その他特記事項】 文部科学省の学校施設環境改善交付金を複数メニュー活用し、財源確保に努めました。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係
（№12　調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
5	中学校グラウンド排水対策事業	【事業概要】 豪雨時の排水が課題となっている白鷹中学校のグラウンドについて、令和5年度に行った排水流量の計算や勾配等の調査・分析に基づき実施設計を行いました。 【成果】 グラウンド排水対策について、調査の結果からグラウンド排水を駐車場内を通し、貝生川へ排水する経路と決定し、グラウンド内のフェンス等老朽化施設の改修も含めた実施設計を行うことができました。	5,577	4	4	4	A	【その他特記事項】 今回の実施設計をもとに、文部科学省の学校施設環境改善交付金の交付申請を行い、採択内定が出次第、早期工事着工を目指し準備を進めてまいります。
6	理科教育等設備整備事業	【事業概要】 理科教育の振興を図るため、理科備品の整備を行いました。（国1/2補助） 令和6年度は小学校分の整備を行いました。 【成果】 理科教材の充実が図られました。	1,143	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係

（№12　調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
7	スクールバス運行管理等事業	【事業概要】 児童生徒の通学の利便性と安全性を確保するため全町的にスクールバスを運行するとともに、学校行事や中体連等にも活用しました。また、東根地区の児童生徒が通学に利用する路線バスの定期代も全額負担しました。 【成果】 スクールバス11路線、タクシー便3路線、路線バス1路線で運行しています。学校行事・部活動・クマ出没・強盗事件等にも柔軟に対応しました。	62,452	4	4	4	A	【その他特記事項】 全路線の運行は、令和6年度から3年間の長期継続契約を締結しています。 熊出没に伴う安全対策のための臨時スクールバスを8月下旬から9月末まで、蚕桑小学校、鮎貝小学校で運行しました。
8	部活動改革体制整備事業（スポーツ）	【事業概要】 部活動の地域移行に向けた、体制整備に必要なコーディネーターの活動謝礼などの必要経費を負担します。 【成果】 8月より、スポーツ4種目において、実証事業を行い、地域移行（展開）の成果と課題を整理しました。また、コーディネーターを中心に児童生徒および教職員、保護者対象の説明会を行い周知することができました。	1,596	4	4	4	A	【その他特記事項】 令和7年度は、継続4種目（4月～）に新規5種目（8月末～）加えた計9種目で実施する予定です。今後の動向（予算）と対他市町との連携（展開）が課題となっています。
9	部活動指導員配置事業	【事業概要】 部活動指導員1名を配置し、平日および休日の部活動時間の指導や大会・遠征等の引率を行いました。 【成果】 文化部を含め全ての部活動を担当し、平日・休日の部活動への指導を主として130日257時間の配置を行いました。また、専門分野を生かし、ストレッチや体幹を鍛えるトレーニングに時間をかけていただきました。	458	4	4	4	A	【その他特記事項】 有効な配置で、教員の負担軽減につなげることができました。 熱中症警戒アラートの発令等により、夏季休業中の活動が制限されましたが、概ね活用することができました。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係

（№12　調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
10	中体連・中文連活動事業	【事業概要】 部活動活性化のための経費として支出しました。 【成果】 生徒が出場する各種大会への参加費用等を支援し、負担軽減を図りました。 令和6年度は、当初予算の1,800千円に追加交付で867千円を加え2,667千円を交付し、実績額が2,244千円であったため差引残高の423千円を戻入しました。 ◇中体連等大会派遣費　2,243,626円	2,244	4	4	4	A	【その他特記事項】 ◆地区中体連県大会出場 〈団体〉 男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、ソフトボール、男子剣道部、サッカー部、陸上（女子共通4×100m、男子共通4×100m）、水泳（男子4×100mフリーリレー、男子4×100mメドレーリレー、女子4×100mフリーリレー、女子4×100mメドレーリレー）、吹奏楽部 〈個人〉 柔道4名、剣道4名、バドミントン1名 陸上競技のべ26名、水泳のべ15名 ◆東北大会出場 〈団体〉 陸上　女子共通4×100m 〈個人〉陸上部6名 ◆全国大会出場 陸上部3名 ◆地区新人大会県大会（決勝大会）出場 ＜団体＞ 男子バスケットボール部、ソフトボール、男子柔道部、男子剣道部 ＜個人＞ 剣道部3名、柔道部7名 ◆駅伝大会県大会出場 〈団体〉男子、女子

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　1.知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成

係名　学校教育係

（№12　調理場管理係）

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
11	学校給食費支援事業	【事業概要】 主食等の値上がりにより、副食費が圧迫される中で、給食費を値上げすることなく、給食内容の質の維持及び向上を図るため、補助金を交付しました。令和元年度から消費税増税分を町負担とするため、補助金を増額しております。 【成果】 児童生徒の栄養価の確保と保護者の経済的負担の軽減が図られました。	15,000	4	4	4	A	【その他特記事項】 当初予算11,000千円のところ、12月議会において、4,000千円増額補正しました。
12	学校給食調理等業務委託事業	【事業概要】 学校給食の調理・配送業務委託を実施しました。 【成果】 3期目の委託業務は概ね順調に進みました。	68,860	4	4	4	A	【その他特記事項】 長期継続契約 (R6.4.1～R11.3.31)

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　2.自他のいのちを大切にし、共生社会の実現に向けた教育の推進

係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額(千円)	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	地域学校安全指導員配置事業	【事業概要】 スクールガードリーダーを1名配置し、通学路の点検・確認、巡回パトロール、見守り隊への指導・助言などを行いました。(国・県・町それぞれ1/3負担) 【成果】 配置した1名により、通学時の安全指導を行い、児童生徒の安全な登下校につながりました。クマ出没や不審者情報の際も立哨指導を行いました。	225	4	4	4	A	【その他特記事項】
2	教育相談事業	【事業概要】 教育相談員2名を委嘱し、不登校児童生徒および保護者の対応や学校・家庭訪問等の教育相談、学校担当者との教育相談定例会を実施しました。 県配置では対応できない急を要する要請に対応するため、スクールカウンセラーを依頼する町独自の対応を行いました。 【成果】 別室登校児童・生徒の指導及び定例会における助言指導を行いました。また、教育委員会で直接スクールカウンセラーを配置し、不登校・不適応、特別支援関係の対応を行いました。	1,257	4	4	4	A	【その他特記事項】 教育支援教室あっとい一すを適切に運営することができ、対象児童・生徒および保護者との面談等も行うことができました。 また、スクールカウンセラーも有効に活用することができ、未然防止、初発指導をきめ細やかに行うことで、小中学生の不登校および登校しぶり傾向が減っています。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　2.自他のいのちを大切にし、共生社会の実現に向けた教育の推進

係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額(千円)	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	学校生活支援員配置事業	【事業概要】 授業や集団生活等に適応できない児童生徒の対応や、習熟度別学習にも対応するため、小学校に9名、中学校に2名の支援員を配置しました。 【成果】 各学校の事情に応じた学習指導や、特に支援が必要な児童生徒の対応など、きめ細かな対応ができました。	37,853	4	4	4	A	【その他特記事項】 令和2年度より1名増の11名による対応を行っています。4月に、生活支援員に対する研修会を実施し、資質向上に取り組みました。
4	要保護及び準要保護児童生徒援助事業	【事業概要】 経済的に困難な状況にある世帯の児童生徒について学用品費や修学旅行費・給食費など、就学に必要な援助を行いました。 【成果】 実人数42名に就学援助費を給付しました。 ◇小学校費　2,066,765円(26名) ◇中学校費　2,296,362円(16名)	4,364	4	4	4	A	【その他特記事項】 経済情勢の変化等による家庭の状況の変化などに応じ、途中認定などを積極的に行い、要保護世帯等の学校生活への支援を行っていきます。
5	医療的ケア看護職員配置事業(R6実施なし)	【事業概要】 たんの吸引や酸素投与等が必要な児童に対し医療的ケア看護職員を配置できるよう準備しました。(国1/3補助)また、医療的ケア用消耗品やベッドを配備できるよう準備しました。 【成果】 当初予算要求時に準備しておりましたが、対象児童は令和5年度末の手術により、医療的ケアの必要がなくなりました。	0	4	4	4	A	【その他特記事項】 今後医療的ケアの必要な児童生徒がいる場合、体制を整えるという意味で方向性を「A」継続としました。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　3.地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進

係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	新入学児童ランドセル贈呈事業	【事業概要】 町内児童の新入学を祝い、健やかな成長を祈るとともに、保護者の経済的負担の軽減等を図るため、町内で製作されたランドセルを贈呈しました。令和7年度新入学児童分を購入し贈呈しました。 【成果】 申請により希望の色等を選択していただき、贈呈者は75名となりました（対象者75名　入学者75名　申請率100%）。	2,640	4	4	4	A	【その他特記事項】 町の魅力的な子育て支援策として、事業内容を町内外に広く周知していきます。
2	青少年国際交流事業（白鷹人育成事業）	【事業概要】 次代を担う中学生、高校生を国際性豊かな人材に育成するため、ホームステイや現地の学校訪問等を行う海外研修を実施しました。 【成果】 11月11日から16日の日程で、オーストラリアケアンズに於いて実施することができました。ホームステイや現地の学校訪問等を実施し、充実した研修を行うことができました。研修後も町民報告会を開催し、町民の皆様に研修のまとめを発表する等、次代を担う中学生、高校生を国際性豊かな人材に育成するための目的に沿った事業を行うことができました。	6,336	4	4	4	A	【その他特記事項】 ・事業説明会 ・第1、2次選考試験 ・事前研修会（5回） ・国際交流事業（11/11～16） ・事後研修会 ・町長報告会 ・町民報告会

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　3.地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進

係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	英語指導助手（ALT）設置事業	【事業概要】 小・中学校の英語学習の充実と英語に触れる機会を増やすため、英語指導者の派遣を受けました。令和6年度も全4名で対応しました。うち1名は、日本人ALTとして、町会計年度職員として配置しました。 【成果】 民間事業者から英語指導助手の派遣を受け、1名が中学校専属、2名が小学校4校で英語活動に対応し、小学校4校では、1校につき週3～5日授業対応を行うことができ、理解を深めることにつながりました。また、1名の日本人ALTは、週1日ずつ小・中学校へ配置することで、日本語でもコミュニケーションをとりながらALTと教員がより連携して授業づくりを行うことができました。	20,583	4	4	4	A	【その他特記事項】 英語活動の充実のため、ALTと教員との連携をさらに強化し、小・中学校における英語活動の推進を図っていきます。
4	英語教育推進事業	【事業概要】 英語4技能検定「GTEC」を小6～中2に実施し、求められる資質・能力の理解と教職員の指導力向上に取り組みました。 【成果】 英語教科・英語活動への支援、英語教材の作成等を行い、教員やALTと連携した授業を実施しました。	1,342	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　3.地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進

係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
5	郷土愛醸成事業（学校紅花栽培）	【事業概要】 生まれ育った町を愛する心を育てるため、「日本の紅をつくる町」プロジェクトの一環として、すべての小中学校で紅花の栽培に取り組みました。 【成果】 小学校は学校敷地内の畑で、中学校は杉沢地内に借りた畑で紅花栽培を実施しました。全小中学校で摘んだ若菜は学校給食でスープに添えて提供したほか、中学校では紅餅づくりにも取り組みました。	145	4	4	4	A	【その他特記事項】
6	コミュニティスクール推進事業	【事業概要】 地域住民や保護者等が学校運営に積極的に参画しより良い学校づくりを推進するため、学校運営協議会を各小中学校に設置します。 【成果】 令和3年度より全小中学校にて設置しました。学校教育目標の共有を進めることで、教育活動への理解や学校課題解決に向けた地域との協働的な取組の促進につながっています。 令和6年度：小学校：270千円　中学校：63千円	333	4	4	4	A	各校の取組の共有と研修会を実施し、町全体での取組の好事例を共有し、各校の実態に応じた取組を支えてまいります。予算については、地域学校協働本部事業内にて、対応します。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　3.地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進

係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
7	1学級1新聞事業	【事業概要】 小学5年から中学3年の全学級に新聞を購入し、児童生徒が新聞に親しみ学習に活用できる環境を整備しました。 【成果】 朝や帰りの会で興味のある記事を紹介し、教室に掲示するなど新聞に触れ活用しております。また、地域や社会の出来事に関心を持ちながら生活する態度が育っております。	525	4	4	4	A	【その他特記事項】 新聞活用により、学習の理解を深める手がかりとなる知識を得ることができました。
8	特色ある学校経営推進事業	【事業概要】 地域の学校という位置づけのもと、総合的な学習を通してスポーツ・環境・福祉・農業など、各校の特色に合わせた学習等を行いました。 【成果】 小学校については郷土愛の醸成、中学校については職業観の醸成に成果がありました。 ◇小学校費　546,700円 ◇中学校費　317,540円	864	4	4	4	A	

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　3.地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進

係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
9	荒砥高等学校魅力化推進事業	【事業概要】 荒砥高校を地域の特色ある単独高校として存続させるため、地域と共同した活動などの支援を行いました。 【成果】 ◇特色ある学校づくり支援事業　300,000円 専門的な知識や技術をもつ講師から指導を受けることで、授業内容が充実し、生徒のコミュニケーション能力向上やキャリアアップを図ることができました。また、地域社会への関心や学習と実生活のかかわりに関する新たな視点を得ることにつながりました。 荒砥高校の魅力を伝える機会として、オープンスクールなどにおいて、生徒の頑張りについてPRすることができました。 ◇学習支援員設置事業　952,170円 特別な支援を要する生徒に対し手厚く対応することで、それぞれの生徒の特性に応じた成長が図られました。また、学校全体の教育環境が整備され、学習活動や生徒会活動などの諸活動の活性化が図られると共に、生徒一人ひとりを大切にする学校として、荒砥高等学校の魅力向上につながりました。 ◇荒砥高校地域連携協議会活動補助金　352,435円 令和2年度に策定した「荒砥高等学校魅力化計画」に基づき、高校魅力化コーディネーターを中心に各事業を実施しました。 ◇荒砥高校活性化事業補助金　7,302,560円 新入生応援事業や、チラシの作成、部活動強化支援、オンラインコンテンツの利用支援、デリバリー型学食、修学旅行費用助成のほか、令和6年度から新たに自動車運転免許費用の助成を実施しました。	8,907	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　1.学校教育の充実

中項目　3.地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進

係名　学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
10	白鷹高等専修学校支援事業	【事業概要】 学校経営、教育活動の充実のための支援を行いました。 【成果】 学校運営全般を支援するとともに、複式学級を解消することができました。 ◇学校運営補助　3,800,000円（町単独補助金） ◇教育充実支援負担金　298,165円（法令外負担金） 平成28年度から置賜3市5町で2,450千円を負担しています。	4,099	4	4	4	A	【その他特記事項】 〈教育充実支援〉 平成26年度は白鷹町で2,200千円を、平成27年度は長井市、白鷹町、飯豊町、小国町で2,450千円を負担しました。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　1. 生涯学習推進体制の整備

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	社会教育施設管理事業	【事業概要】 社会教育施設（鮎貝ふれあい広場、山峡体育館）の管理を委託し、施設の適切な維持管理を行いました。 【成果】 地元区等に管理を委託し、良好な管理を行っていただきました。	1,974	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　2. 生涯学習としての自発的な学習活動に対する支援

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	放課後子どもプラン推進事業	【事業概要】 休日の子どもの安全・安心な居場所づくりを目的として実施するもので、地区コミュニティセンター等において、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などを行う事業です。活動は、蚕桑、十王、鷹山のそれぞれ地区コミュニティセンターに事業を委託して実施しています。 【成果】 昨年度よりも高学年、親子での参加が増えてきました。夏場外での教室ではサポーターの協力を得て熱中症対策を行ないながら実施することができました。	815	4	4	4	A	【その他特記事項】
2	二十歳のつどい開催事業	【事業概要】 町内在住及び町出身の20歳を対象として、毎年8月15日に開催しています。 【成果】 令和6年度の二十歳のつどいは、対象者145名のうち98名が出席しました。	631	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　2. 生涯学習としての自発的な学習活動に対する支援

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	白鷹学講座開催支援事業	【事業概要】 町民自らが企画運営する事業の実施団体に対し、補助金を交付することで支援を行いました。 【成果】 ○R6年度事業実績 【申請件数】5件 【交付決定】4件 【交 付 額】1,207,577円 ①「森の音楽祭」 【交付額】380,000円 【申請者】森の音楽祭実行委員会 【内　容】山、森には私たちの生活に密接な保水機能による洪水抑制機能、木材の生産機能、心を穏やかにする景観機能があり、忘れられてきたその多くの恵みに対し、あらためて感謝の意を表し、音楽祭を開催して多くの方々の意識醸成を行っていく。 【実施日】令和6年9月15日（日） 【会　場】さくらの里文化伝承館 【参加者】205人 ②白鷹町誕生70周年記念 トゥリトネス水中パフォーマンスショー 【交付額】477,577円 【申請者】白鷹町水泳連盟 【内　容】町民水泳大会の競技終了後にトゥリトネス主催・水の道化師不破央氏および田中聡子氏によるす水中パフォーマンスを公演。 日本記録保持者の不破氏から小中高生へのワンポイントレッスンを開催。 【実施日】令和6年7月26日（金） 【会　場】白鷹町民プール 【参加者】150人	1,208	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　2. 生涯学習としての自発的な学習活動に対する支援　　係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	白鷹学講座開催支援事業	③白鷹町が生んだ戦没作曲家・紺野陽吉の音楽を伝え、白鷹町の介護施設のみなさんとともに音楽を楽しむ会 【交付額】130,000円 【申請者】スクール・コンサートの会 【内　容】紺野陽吉愛用のヴァイオリンとギターを使用してデュオ演奏 【実施日】令和6年10月9日（水）、10月12日（土） 【会　場】白鷹町文化交流センターあゆーむ 【参加者】132人 ④～ココロとカラダにいいことしよう～運動マルシェ 【交付額】220,000円 【申請者】チーム★健康美プロジェクト　代表　竹田恵美 【内　容】親子で応援プログラムでは、乳幼児の親子でふれあい遊び、幼児の親子体操、児童向けの運動能力アップトレーニング講座の開催。 【実施日】令和7年3月2日（日） 【会　場】白鷹町文化交流センターあゆーむ 【参加者】300人						
4	家庭教育支援事業	【事業概要】 家庭教育の重要性を考慮し、町内小中学校において実施する「やまがた子育ち講座」及び町内保育施設等で実施する「幼児共育ふれあい広場」を支援する事業です。 【成果】 認定こども園2園、小学校4校、図書館において家庭教育講座を開催し、多くの保護者に参加いただきました。	160	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　2. 生涯学習としての自発的な学習活動に対する支援

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
5	地域学校協働本部事業	【事業概要】 「地域の教育力の向上」や「多様な形態の教員支援」などを目的に、すべての学校区において事業を実施しました。 地域学校活動推進員を2名配置し、各校の学校支援のボランティアの取りまとめを行ないながら、地域全体で学校を支援する体制の構築を目指し取り組みました（国・県・町それぞれ1/3負担）。 【成果】 学習環境の整備をはじめ様々な学校活動に対し、延べ2,798人の方にご協力をいただきました。ボランティア活動を通して地域と学校の融合・連携の深まりが感じられました。 紅花学習においては、生産者の方々や役場商工観光課、教育委員会との連絡や日程調整が順調にいき各学年が「日本の赤をつくる町」を実感できる体験学習をすることができました。	1,824	4	4	4	A	【特記事項】
6	成績優秀者激励金交付事業	【事業概要】 小中高校生等及びその引率指導者が、生涯学習分野（文化、スポーツ含）において、県大会等の予選を通過し全国規模の大会等に出場する者を讃えることを目的に実施しました。 【成果】 個人20名（高校生9名、中学生6名、小学生5名）、団体2団体（7名）に交付しました。	380	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　3. 町立図書館の充実

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	読書感想文及び生活文コンクール開催事業	【事業概要】 広く町民から読書感想文を募集し優秀な作品を讃えました。平成20年度からは特別賞として童門冬二賞を設けています。 【成果】 子どもたちが本を読み、読書感想文を書くことを通し、自己を見つめるきっかけになるよう実施しています。例年、入選者の作品集を作成し、学校などに配付しています。令和6年度は、38点の作品が入賞し、そのうち10点が特別賞に選ばれました。	198	4	4	4	A	【その他特記事項】
2	読書活動推進事業	【事業概要】 幅広い世代を対象に、読書に関する講演会や研修会、企画展など様々な事業を展開することで、本に親しんでいただき、また、多くの方に図書館に足を運んでいただくきっかけをつくり、図書館利用者のさらなる増加を目指すとともに読書活動の推進を図ります。 【成果】 親子の絵本製作や手づくり絵本の読み聞かせを通して、親子で触れ合いながら絵本に親しんでもらうことができました。作家の絵本や童話に込めた思いを聞いたり、実際読み聞かせを聞いたりする機会を設けることで読書や読み聞かせの良さを広めることができました。	160	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　2.生涯学習の推進

中項目　3. 町立図書館の充実

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	佐藤文隆文庫活用推進事業	【事業概要】 「佐藤文隆文庫」について、多くのかたの目に触れる機会を作り、継続的に利用できるよう、宇宙探検隊の育成、宇宙に関する講演会等を実施しました。 【成果】 宇宙探検隊の隊員は8名で年間11回の学習会を行ないました。学習会は、町内の朝日風穴の探検、山形大学名誉教授　柴田晋平氏の講演会、天体観測など、普段学習することのない内容が好評で、意欲的に学ぶ子どもたちの姿が見られました。 文隆文庫については文隆氏に関わりのある、「青木薫文庫」を新設し、「科学と宇宙コーナー」の蔵書を増やしました。 町誕生70周年記念事業として、佐藤文隆氏の講演会を行い、約180名が聴講しました。参加者には佐藤文隆文庫も活用していただくことができました。	544	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　3. 文化芸術の振興

中項目　1. 文化力の向上

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	芸術文化振興（芸術祭）事業	【事業概要】 町芸術文化協会との連携により芸術祭を開催し、芸術文化の振興と生きがいづくりの機会創出を図りました。 【成果】 10月25日～10月27日の3日間、文化交流センター「あゆーむ」において開催しました。 展示部門、音楽部門、公演部門に通常の形で実施した。R6も栃尾文化協会との交流を実施し、一般町民の方からの出展、出演も多く集まりました。参加者のべ人数1,250名となりました。	642	4	4	4	A	【その他特記事項】 芸術文化の振興のため今後も開催を継続できるように努めます。また、参加者の拡大に向け、引き続き開催内容の工夫に努めます。
2	伝統芸能保存伝承事業	【事業概要】 「高玉芝居」の保存継承と、鑑賞の場を提供するため定期的な公演を支援する事業です。 【成果】 10月に発祥の地、瑞龍院境内にて、高玉芝居上演を行ない、187名の参加がありました。 高玉芝居の定期公演は、さくらの里文化伝承館で開催。地域の文化に触れることを目的とした出前講座は、蚕桑小学校の4年生12名を対象に4回開催されました。	700	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　3. 文化芸術の振興

中項目　1. 文化力の向上

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
3	こども芸術文化活動事業	【事業概要】 こども芸術文化活動の育成を支援するため、町芸術文化協会を通して芸術文化活動を行っている団体を支援しました。 【成果】 芸術文化協会を通して、次の5団体に補助金各10万円を交付しました。それぞれ練習、イベント等に活用されています。 ①白鷹町少年少女合唱団 ②白鷹日本舞踊子ども教室 ③白鷹墨絵文化こども教室 ④子ども茶道会 ⑤はーとあーと	500	4	4	4	A	【その他特記事項】
4	梅津五郎記念事業	【事業概要】 梅津五郎記念事業として、例年計画的に絵画の修復、額装等を行っております。 令和6年度は、修復を行わず、額装を行いました。 【成果】 計画的に必要な修復や額装が行われています。	464	4	4	4	A	【その他特記事項】 あゆーむの自主事業として、毎年行われている梅津五郎絵画展を、令和6年9月28日～10月16日開催しました。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　3. 文化芸術の振興

中項目　1. 文化力の向上

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
5	文化交流センター管理運営事業	【事業概要】 白鷹町文化交流センター「あゆーむ」の管理運営について、指定管理者に委託して実施しています。 【成果】 利用人数については、40,925人（対前年度比+2.4%）でした。コロナウイルス感染拡大前のH31と比べると△32%と依然大きく減少しています。 梅津五郎絵画展、三田村有純漆芸展人美しい風景写真100人展、オールドノリタケ名品展、河村尚子ピアノリサイタル、芳文庫の彫刻と菊地隆知の版画展、打田早苗童歳時記等、幅広い展示やイベントが開催されました。	38,400	4	4	4	A	【その他特記事項】 令和3年度から(株)シグマによる5期目の指定管理となります。(R3-R7) R6は、電気代高騰により、委託費36,667千円から38,400千円に変更契約を行ない、支払いました。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　3. 文化芸術の振興

中項目　2. 文化財等の保護と活用

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	文化財保護対策事業	【事業概要】 指定文化財（国・県・町）の保護管理事業を実施しました。 【成果】 ・国・県・町指定文化財管理費補助金交付　7団体 ・粥餅田湿原保全活動 ・文化財活用コーディネーター設置(学芸員1名) ・龍門図書館管理委託 ・カモシカ対応	5,608	4	4	4	A	【その他特記事項】
2	小四王原遺跡解体保存事業	【事業概要】 小四王原遺跡を解体、埋め戻し保存しました。 住居跡を川砂と山砂で埋め、柱跡に擬木6本設置し、芝を張りました。 説明看板を変更しました。 【成果】 遺跡に擬木を設置し、写真入りの説明看板にしたことにより、今後も後世に伝えられるものとなりました。	1,502	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　3. 文化芸術の振興

中項目　3. 歴史・文化の学習環境の充実

係名　生涯学習・文化振興係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	文化財保護調査事業	【事業概要】 文化財の保護、管理及び文化財資料等の調査を行いました。 【成果】 ・小四王原遺跡の管理 ・古文書解読 ・埋蔵文化財試掘調査1件	119	4	4	4	A	【その他特記事項】
2	歴史民俗資料館管理運営事業	【事業概要】 令和4年に歴史民俗資料館がグランドオープンし、常設展示のほか、企画展は「湯殿山行者明寿海上人」や町誕生70周年記念事業「白鷹町のあゆみ」「白鷹町の地形ができるまで」「最上川に沈んだ小判」、「OddLeaf～奇妙な葉っぱ」等を実施しました。 【成果】 令和6年度の来館者は1127名でした。	2,923	4	4	4	A	【その他特記事項】

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　4.スポーツの推進

中項目　1.健康体力づくりに向け各年代にあったスポーツ活動の推進　　係名　生涯スポーツ係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	町誕生70周年記念 第59回白鷹若鮎マラソン大会開催事業	【事業概要】 第59回大会を9月22日(日・祝)に公益財団法人日本陸上競技連盟公認コースで開催しました。 町誕生70周年記念事業として、ランニングクリニックを開催しました。 【成果】 スポーツ振興くじ(toto)助成金3,524千円を受け、実施しました。913名がエントリーし、662名が完走しました。	6,233	4	4	4	A	【その他特記事項】 箱根駅伝出場校現役選手の招待選手効果により、昨年度からエントリー数が106名増加しました。豪雨の影響で電車が運休し、シャトルバスで対応しました。このことから、自然災害も予測しておく必要があると感じました。安協等協力いただいている方の稼働時間が長く負担が大きいことも課題です。今後の開催に向け、課題を整理して参加者の満足度が上がるよう努力します。
2	白鷹町誕生70周年記念地区対抗駅伝競走大会開催事業	【事業概要】 白鷹町誕生70周年を記念し、10月13日に町内を1周する特別コースで開催しました。 【成果】 町誕生70周年記念事業として、町役場チームを結成し、各地区を周るコースで開催しました。各地区それぞれに結束して盛り上がりました。地域づくりの意味から、とても大切な事業であると感じました。	486	4	4	4	A	【その他特記事項】 地区によって開催に対する考え方に大きな差があります。 そのため、今後の開催に向けては、関係機関や地区との話し合いを重ねながら、調整を図ります。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　4.スポーツの推進

中項目　2.スポーツ協会や各種団体の育成　　係名　生涯スポーツ係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	白鷹町スポーツ振興基金事業	【事業概要】 スポーツ振興基金運営委員会の決定に基づき、競技力向上対策事業、スポーツ団体の育成、健康づくり推進を目的に、基金の交付を行いました。 【成果】 競技力向上対策事業、町体育協会活動助成事業、各競技団体選手育成事業、町スポーツ健康づくり普及事業、スポーツ推進委員会活動助成事業、スポーツ少年団育成事業を実施しました。成績優秀者激励金は、4名に激励金を交付しました。	2,440	4	4	4	A	【その他特記事項】 この基金は、スポーツ協会加盟団体、中学校部活動、各地区社会体育振興会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、荒砥高校のスポーツ推進等のスポーツ活動を活発にするための貴重な財源となっています。
2	白鷹町スポーツ協会運営強化支援事業	【事業概要】 総合型地域スポーツクラブを統合したスポーツ協会事務局の体制強化を図りました。 【成果】 スポーツ協会の体制強化を図り、各種大会の調整や準備が円滑に進められるようになっています。	3,827	4	4	4	A	【その他特記事項】 プロスポーツ応援事業も行われました。 スポーツ協会には今後、スポーツ施設の管理業務なども計画的に委託していきます。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】

大項目　4.スポーツの推進

中項目　3.スポーツ施設の整備・充実

係名　生涯スポーツ係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額（千円）	必要性	有効性	費用対効果	方向性	改善点／課題／その他特記事項
1	社会体育施設管理事業	【事業概要】 蚕桑紬パーク、野球場、ソフトボール場、スポーツ交流館、武道館、町民プール、旧鷹山小学校体育館・グラウンド、スキー場、東陽グランド、学校体育館開放など、スポーツ施設の維持管理、運営を行いました。 【成果】 多くの町民の皆さんに、安全に利用いただきました。	45,899	4	4	4	A	【その他特記事項】 老朽化している施設が多く、優先順位を決めて対応しています。
2	町民武道館空調設備整備事業	【事業概要】 武道館に空調設備を設置しました。 【成果】 酷暑の中でも安全に使用できる施設となりました。	57,370	4	4	4	S	【その他特記事項】 武道館の空調整備を行いました。

■必　要　性【4:必要不可欠　3:認められる　2:あまり認められない　1:認められない】
■有　効　性【4:十分　3:概ね十分　2:やや不十分　1:不十分】
■費用対効果【4:適切　3:概ね適切　2:やや不適切　1:不適切】
■方　向　性【S:完了　A:継続して実施　B:若干の改善必要　C:縮小・大幅な見直し必要　D:廃止・中止 】